

African Network in Global History
Reseau Africain d'Histoire Mondiale

2009年12月9日から12日までアフリカのナイジェリアにあるイロリン大学において、アフリカから世界史を考える歴史家たちの集まりがあり、その結果 African Network in Global History という組織が設立されました。

集まったのは、ナイジェリア、カメルーン、ベニン、セネガルなどの西アフリカの歴史家たち、南アフリカの歴史家、在フランスのナイジェリア人歴史家、それにエジプトのカイロにあるアメリカ大学のアメリカ人歴史家、ドイツ人、スイス人のアフリカ史研究者、アメリカのアフリカ史研究者、そして日本から来た私（AAWH を代表して）といったメンバーでした。

会議では、アフリカ人だけでなく、アフリカという視点から世界史を考える歴史家（研究者も教育者も）をメンバーとし、世界史と言ったときにも *universal history*, *global history* など、ナショナル・ヒストリーを克服しようとする傾向の歴史を指すことにしようという合意がなされました。AAWH のケースとまったく同じ議論でした。

一般に、アフリカの歴史家はナショナル・ヒストリーへの傾向が強く、それを乗り越えようとする歴史家は少ないと言われています。そういう中で、世界史への強い意欲を持った歴史家が国境を越えて集まることができたことは、重要な歴史的イベントでした。

また、欧米からではなく、アジアから私が参加したことは、アフリカの人々にとって、とても新鮮だったようで、とくに学生たちは強い関心を示し、熱烈な歓迎をしてくれました。アジアとアフリカの連帯の必要性を強く感じてきました。

African Network in Global History は、2011年9月にエジプトのカイロにおいて、第一回の学術大会を開くことを決定しました。

南塚信吾（法政大学教授）